資料１

公開文書

掛川市

第3回
日坂小学校跡地利活用検討委員会

日時：令和8年3月28日　午後7時から

会場：JA掛川市　旧日坂支所

掛川市人事･総務部資産経営課

© 掛川市 2026

本日のスケジュール

1. 開会・あいさつ		19:00
2. 廃校活用事例視察内容の共有 ①遊んで泊まれる小学校 カタショー ②原泉地域立 森の都さくら咲く学校	（10分）	19:05 ～19:15
3. 廃校活用事例視察の感想共有	（10分）	19:15～19:25
4. プレサウンディング調査等の結果報告	（10分）	19:25～19:35
5. ワークショップ テーマ：活用主体、地元で利用したいエリアについて	（75分）	19:35～20:50
6. グループごとの結果発表・方針の決定	（10分）	20:50～21:00
7. 閉会		21:00

本日のねらい

①「跡地活用の主体」をまとめる

②跡地における「地元での利用方法」を絞り込む

- 廃校活用事例の視察や民間事業者へのプレサウンディング調査、これまでの委員会を踏まえて、「跡地活用の主体」をまとめるとともに、「地元の利用方法（活用したいエリアなど）」を絞り込みます。
- 本日はワークショップ形式で行います！気軽にご意見をお聞かせください。

目次

2. 廃校活用事例視察内容の共有

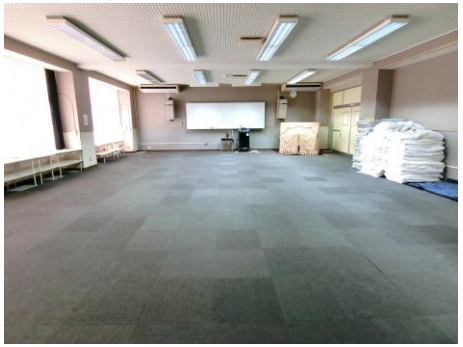
2. 廃校活用事例視察内容の共有

2つの事例を視察しました！

■開催日：令和8年3月11日（水） ■参加者：10名（委員6名、事務局4名）

遊んで泊まれる小学校カタショー

株式会社マキノハラボ



宿泊施設のほか、日本語教室や地域コミュニティの活動の場、
にぎわい創出のためのイベントの場として活用している

原泉地域立 森の都さくら咲く学校

原泉地域立 森の都さくら咲く学校管理運営組合

校舎をテナントとして貸しているほか、イベント開催などにより
地域に新たな交流を生み出している

目次

3. 廃校活用事例視察の感想共有

3. 廃校活用事例視察の感想共有

いいなと思った使い方や**日坂小学校にも活用できそうだと感じたアイディア**等、
ざっくばらんに感想を共有しましょう

「跡地利活用によって実現したいこと」をある程度整理します！

いろいろな用途で
活用している

地域外との交流
を生み出している

福祉的な取組を
行っている

子どもの教育を
支援している

地域主体で
運営している

© 掛川市 2025 公開文書

目次

4. プレサウンディング調査等の結果報告

4. プレサウンディング調査等の結果報告

■プレサウンディングの概要（回答期間：令和8年2月19日（木）～令和8年3月9日（月））

回答者	2者
質問事項	• 日坂小学校跡地の市場性 • 事業実施における懸念点・諸条件 • 現時点での事業参画意向 • 利活用アイデアやイメージ • 事業手法（譲渡や貸付のパターン） • 貸付期間 • 地域生涯学習センターの継続使用について • 避難所等への指定に関して • 地区へ施設一部賃貸する場合の課題 • 複数事業での事業実施における課題 • 事業スケジュール　など

目次

5. ワークショップ

意見交換のテーマ

テーマ1　活用する主体について

- 第2回委員会までに出た意見を参考に、活用主体(案)を整理しました。これをたたき台として、意見交換を行います。

テーマ2　地元の跡地利用について

- これまでの委員会では、「地元でも跡地を利用したい！」という意見が出ていました。利用したいエリアとその用途や頻度について意見交換を行います。

【目的】

これらのテーマについて話し合い、委員会としての意見をまとめることで・・・

- ◆ 事業者が具体的に事業を検討できるようにします！
- ◆ より効果的な市場調査ができるようにします！

© 掛川市 2025 公開文書

テーマ１　活用する主体について

以下の活用主体が考えられます。

民間事業者

- ✓ 株式会社、NPO法人、社会福祉法人、医療法人など、地方公共団体以外で法人格を得ている事業者を指します。
- ✓ 「グランピングがいい」、「子どものための施設がいい」など、特定の用途に特化した事業を展開したい場合には、民間事業者を活用主体として検討します。

※地元住民でNPO法人や株式会社を設立した場合でも、ここに該当します。

地元

- ✓ 日坂・東山地区にお住まいの方、もしくは日坂・東山地区にある団体を指します。
- ✓ 「グラウンドを地元の団体で使いたい」、「地元住民が主体で講座を開きたい」など、地元住民や団体など、地元で使いたい方がいるという場合には、地元を活用主体として検討します。

テーマ１　活用する主体について

第2回委員会までの主な意見を整理すると、次のようなパターンが想定できます。

民間事業者のみで維持管理・運営をする	全体を民間事業者が管理し、地元で一部のエリアを借りる	民間事業者と地元、それぞれが完全に分かれて利用する
• 一部が地元で、となると民間事業者の参入ハードルが高くなる可能性があるため、全体を民間事業者に任せるような方向がいい • 高齢化と人口減少も進んでいるため、民間事業者が参入してくれると嬉しい • 複数の事業者に間借りしてもらう	• ある程度民間事業者に活用してもらい、一部を地元で賃借して、地区コミュニティの施設にする • 地区住民も使い、外からも人が来るような場になるといい • 維持管理は民間事業者にお願いし、有事の際には地元も活用できるような協定の検討	• 体育施設については、地元が利用できるようにしてほしい • 校舎、体育館、グラウンドそれぞれを分割して活用することも検討したほうがいい

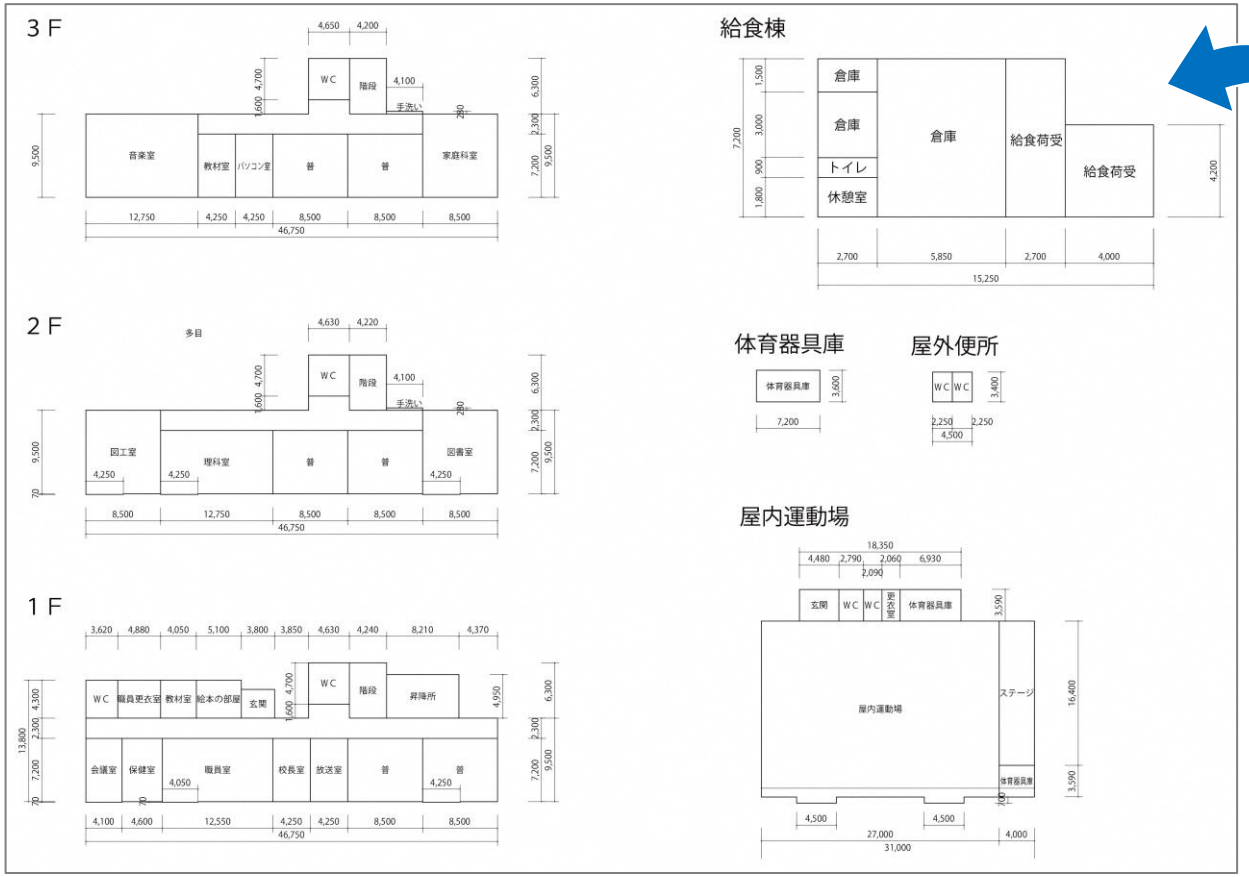
地元でも活用したい！という意見が出ていました。この2つのパターンを軸として、

① 「民間事業者＋地元」で使う方向で良いかを確認
② 主に民間が活用して地元が借りるのか、もしくは一部エリアを完全に地元の管轄とするのか、地元の関わり方について確認

をします！

テーマ２　地元の跡地利用について

テーマ1がまとまったら、地元の跡地利用方法についての意見交換します。



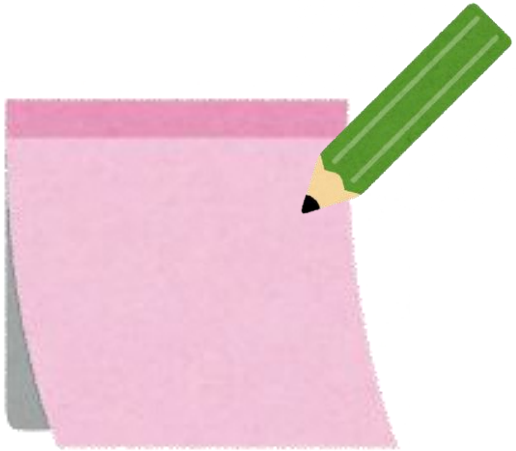
①使いたい場所
②そこでの活動内容
（何に、どれくらいの頻度で）
を模造紙に書きこみます

時間に余裕があれば、民間事業者に「どのような施設として活用してほしいか」について意見交換を行いましょう！

「どこをどのように使いたいか」を絞ることで、民間事業者へ適切に情報共有をすることができ、2者協同の体制を具体的に検討することができます！

ワークショップの進め方

- 意見交換は、2～3グループに分かれて行います。
- グループごとに進行役がつきますので、テーマごとに話合いを進めてください。



目次

6. グループごとの結果発表・方針の決定

目次

7. 閉会・次回について